

時事彙報

明治二十年年度豫算

本年度の豫算豫算の去る十日の官報號外を以て公布せし其全文の載せて一昨日の本紙上にあれば讀者一讀して其大意自から明白ならんと雖も我輩の此の表を見て少しく疑ふべき所のものなきを得ず本國の人口漸く増加して文明の事業漸く進歩すれば政府の歳入の漸く増加す可き筈なるに我國は於て其反対を見るものありし抑も本年度の歳入總額合計七千九百九十三萬六千八百七十七圓にして前年度より増加すること五百二十四萬四千五百五十五圓なれども其實は海軍公債募集金六百四十八萬六千二百四十八圓を加へたるが爲め此増額を示すたるのみにして若し此募集金を總額より減するとすれば歳入は七千三百四十五萬六千二百二十二圓にして前年度より減少すること二百二十四萬四千七百九十三圓なり又前年度の歳入總額を列記して本年度に比較すれば左の如し(表中明治十五年六兩年度は現計にして十七年以下の豫算なり又十八年度は會計年度の改正に依り九箇月を以て一年度とす以下倣之)

Table showing fiscal data for various years from 1875 to 1907, including land tax and other revenue details.

官報

大藏省告示第二十六號

大藏省告示第二十六號
大津第六十四號立銀行京都支店ノ於明治二十年四月十五日ヲ以テ閉鎖ス
明治二十年三月十二日 大藏大臣伯耆松方正義

此限コアラズ
但客年五月第四十號告示ハ本年三月三十一日限り廢止ス
明治二十年三月十二日 大藏大臣伯耆松方正義
逓信省告示第二十七號
明治十九年當省令第十九號船燈信機器製造販賣規則中船燈ニ關スル事務ハ東京府下一限リ警視廳ノ主管ニ屬ス

雜報

露國の皇帝 マイケロフと稱する人は露國虛無黨の一人として昨年十二月葬せられケイセイヤと暹さる途途中逃亡して近頃米國ニユーイヨシに著したるも此あるが同氏の物語なりとて一月廿六日のユーイヨシニケアラド新聞に記する所を見るに露國皇帝行跡は甚だ放逸にして既に先頃ユーイヨシ伯の死去は帝の手に下されたものありとて専ら世間に風説するに付露國政府の頻りに之を取消さんとして事實無根と稱すれども全く帝の所業に相違なく昨年の八月月中にも内亂の爲光サーセル、イノッフと稱する悪徒を殺害せられたる事あり右の次第なれば酒典に乗せて皇后宮をすら甚だ手荒く取扱はるゝ由とあり信玄難き話あり

東京十六日ヨリ東京佛學校ノ夜學ヲ始ム一來十七日午後四時佛學ヲ開ク先生ノ講義ノ開ク一本書講義ノ開ク佛學ノ開ク

通俗學藝志林第九號
目録：論說○狂及び犯罪セルソノ原因
目録：論說○狂及び犯罪セルソノ原因

東詩文學館
抄者僕從來 詩文點刪
抄者僕從來 詩文點刪

日本文藝
發行所 東京神田